

英語の発表の準備は万全ですか？ ～コツを伝授しよう（僕にはできませんが・・・）～

僕の経験から、英語以外の部分でアドバイスしましょう。日本語のポスター発表でも同様ですが、プレゼンテーションでは「伝える意思」が大切です。伝える意思では、非言語コミュニケーション（ノンバーバル・コミュニケーション）が武器になります。言葉そのものが与える影響よりも、見た目や態度が与える影響の方が大きいという説もあります。

***** 【アイコンタクト】

アイコンタクトが大切だと言いますが、ずっと相手の目を見てると緊張しますよね。プロっぽく見えるコツを伝授しましょう。

・「1フレーズ1人」の法則

一文（または一つの区切り）を話す間は、特定の1人の目を見るようにします。キョロキョロ下印象になりませんが、ずっと見ているわけでもない感じになります。

・ポスターと聞き手を「往復」する

ずっと聞き手を見ている必要はありません。「説明する箇所を指す（ポスターを見る）→顔を上げて聞き手の反応を見る」というサイクルを作ると、自然なリズムが生まれます。聞き手の反応を見るのは重要です。次の項目に続きます！

・「うなずき」を誘発する

こちらがにこやかに、あるいは真剣にうなずきながら話すと、聞き手もつられてうなずいてくれます。相手がうなずいてくれると、こちらの安心感に繋がります。

※そうすると君たちが発表を聞くときも「うなずいたり」「伝わってなさそうな表情をしたり」ということが大切だとわかりますね。

【ポスターの前での「立ち位置」と「身体の向き」】

英語が苦手だと、ついポスターの方を向いて（背中を向けて）ボソボソ話しがちですが、これではダメでNGですね！

・立ち位置は斜め45度

ポスターの横に立ち、体は聞き手の方の斜め45度くらいに向けます。

・「手」でポスターを指しながら

英語に自信がない場合、手のひら全体を使って図を示す方が、堂々として見えますし、視覚的な情報量も増えます。ただし、ポスターを指した手でポスターを隠さないようにしましょう。

【「沈黙」をどう乗り越えるか】

言葉が出てこないとき、焦って「あー」とか「えー」(Uh... Um...) と言うと、自信がなさそうに見えます。それはそれでかまいません。そこで焦らないでください。しかし、そんなときの技があります。

・「黙って指し示す」

言葉が詰まったら、ニコッと微笑み、注目してほしいグラフを指さして、相手がそこを見るまで数秒待つ体が聞き手に対して開いた状態をキープできます。

てみてください。これは「間を置く」という立派なプレゼン技術です！

・ジェスチャーを大きく

アメリカ人がプレゼンするとき、おおげさなジェスチャーをしますよね。僕が授業をするときも、よく観察すると手を盛んに動かしているはず。「増えた (Increase)」ときは手を斜め上に、「小さい (Small)」ときは指で形を作るなど、体全体で意味を補足します。

・いざといったら単語（特にテクニカルターム）を連発する！

どうしても文章にならないときは、単語（特にテクニカルターム）を連発するという裏技があります（僕が一番多用した切り抜け方）。例えば、「〇〇の濃度が増えている」と言いたかったとしましょう。ポスターの説明したいところを[this]と良いながら指さし、「〇〇」「density」（この単語はポスターに書いてあるはず）「increase」と言います。僕の経験では、これでもけっこう伝わります。

【聴覚的な「自信」を演出する】

英語の流暢さよりも、以下の2つが重要です。

・「語尾」までハッキリ話す

自信がないと語尾が消え入りがちですが、最後の一文字まで声を落とさないだけで、説得力が激変します。

・スピードを「1.5倍」遅くする

「ゆっくりすぎるかな？」と思うくらいが、聞き手にはちょうど良いです。ゆっくり話すと、次に使う単語を考える時間も稼げます。

ポスター発表に来る人は、あなたの研究に興味があります。だから一生懸命理解しようとしてくれます。細かい失敗は気にしない！

笑顔 + 大きな声 + 堂々とした指差し

